

Charles François Daubigny

シャルル＝フランソワ・ドービニー (1817～1878)



作品名 日没(1859年)

種類 エッチング

サイズ 11.5×18.4cm Salmon(刷師)

略 歴

パリ生まれの風景画家で、バルビゾン派の巨匠である。自然をありのままに写す作品はブーダンら初期の印象派の態度に近い。ゴッホ最後の地となった南仏オーヴェール＝シュル＝オワーズの風光を発見したのも彼であり、銅版画にも優れたものがある。バルビゾン派 七星の一人